



日頃は松本建設事務所の建設行政にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

令和元年度第2号の松建だよりです。

10月から12月にかけての主な出来事をご紹介します。

10月

台風19号による災害発生

○～松本市四賀地区、麻績村、生坂村、筑北村において甚大な被害～

令和元年10月11日から10月13日にかけて長野県を襲った台風19号による豪雨は、松本地域においても甚大な被害を与えました。特に松本市四賀観測所では、最大時間雨量33mm、最大24時間雨量254mmを記録し、筑北村及び麻績村地域を中心に道路路肩崩落・河川の氾濫等、多くの被害を引き起こしました。

現在、早期復旧に向け準備を進めております。1日も早い復旧に努めて参りますので、ご理解ご協力の程お願い申し上げます。



国道143号 会吉トンネル下
道路路肩崩落



一級河川 麻績川 宮の下
河川護岸欠損

11月

松本平広域公園 陸上競技場の整備方針を決定！

○～現在の位置に建替え～

松本平広域公園は、2027年開催予定の第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会の開・閉会式会場及び陸上競技会場に予定されていることなどから、陸上競技場の整備の方向性について昨年度から検討を行ってきました。

検討の結果、「陸上競技場(主競技場)を現在の位置に建替える案」が最適と判断し、この案をもとに、競技団体や障がい者団体をはじめ、広く県民の皆さんからご意見を伺いながら具体的な設計を行い、令和7年度(2025年度)の完成を目指していきます。



【松本平広域公園 陸上競技場整備イメージ】

12月

台風 19 号による災害の災害査定が始まる

○～災害復旧に向けて災害査定が始まりました～

10月11日から10月13日にかけて長野県を襲った台風19号による豪雨災害の復旧に向けた災害査定が始まりました。

管内の災害査定は、12月6日の週の第6次査定を皮切りに始まり、1月27日の週の第12次査定まで及びました。

所を上げて取り組んでおります。

上高地で河床上昇対策工事を実施中

○～極寒の上高地で頑張っています！～

上高地では、毎年少しずつ河床が上昇しています。河床上昇により居住施設が浸水するのを防ぐため、県では11月15日の上高地冬期閉鎖後に、河童橋周辺で河床にたまった土砂を掘削・搬出しています。

今年も氷点下を記録する極寒の地で、北アルプスから吹き下ろす地吹雪にも負けず、工事を行っています。

長野県では、上高地の景観を守るため、地道な努力を続けています。



河童橋の上流にたまった土砂



たまった土砂を掘削



掘削した土砂をダンプトラックで搬出

冬期における安心・安全な交通の確保を目指します。

○～新車も納入され除雪体制が整いました。～



納入された融雪剤散布車



除雪説明会を開催

管内の県管理道路 67 路線 547.2km のうち通行不能区間、冬期通行不能区間を除く 461.4km で除雪・凍結防止剤散布を実施しています。

限られた予算の中、効率的な除雪に努めていますので、県民はじめ道路を利用する皆様のご理解とご協力をお願いします。

～編集後記～

令和元年 2 回目の発行になります。

下半期に入ったとたん、長野県を襲った台風 19 号による豪雨災害に見舞われました。長野県は山に囲まれていることから大きな台風による災害は少ないと思われてきましたが、今回は東北信を中心に甚大な被害をもたらし、管内も例外ではありませんでした。

事務所では台風の接近に備えて 12 日から水防の特別体制を組み非常時に備えました。一時は大雨特別警報が発令されたため第 3 配備の水防体制をとりました。さらに台風が通過した 13 日は早朝から道路パトロール、災害箇所の確認、応急対応など藤池所長の陣頭指揮の下全職員で取り組みました。

今回の台風の対応においては、地元建設業、測量設計に携わる皆様に発災当初から献身的に地域を守る活動をして頂きました。紙面を借りて御礼を申し上げます。

現在は早期の災害復旧に向けて事務所職員一同日々取り組んでいます。

また、災害応援として被害の大きかった須坂、長野建設事務所へ職員の派遣も行われています。

令和 2 年、西暦 2020 年が災害の無い平穏で良い年になりますように願っています。